

令和5年度森林環境教育推進事業
奄美市立 手花部小学校

1 学習・体験のねらい

森林・林業の果たす役割や重要性、奄美群島固有の生物多様性についての学習及び各種体験活動を通して、森林の持つ公益的機能や森林資源の循環利用、地域林業、森林を未来に引き継ぐことの意義について理解を深める。

2 学習・体験の位置づけ

総合的な学習の時間

3 森林学習・体験活動の種別

①木工体験活動 ②自然観察活動 ③しいたけ駒打ち活動

4 日時・場所・対象者

	日	時	場 所	学 年	児童生徒数	教職員数	計
①	令和5年6月20日(火)	9:40~11:25	手花部小学校	1~6年生	15	6	21
②	令和5年11月14日(火)	8:45~12:20	奄美自然観察の森	1~6年生	12	5	17
③	令和6年2月7日(水)	9:40~11:25	手花部小学校	1~6年生	15	5	20
合 計 (延べ人数)					42	16	58

5 学習・体験の進め方(スケジュール)

	学習・体験の手順・ポイント	安全管理	指導者(人)
①	かごしま材を使用した木製時計の製作を通して、木の特性や木工等について学習した。	糸鋸盤等による怪我について注意喚起	森林・林業教育指導員 1 大島支庁 2
②	龍郷町にある「奄美自然観察の森」において双眼鏡を使用し、園内の野鳥等を観察した。また、園内の土壌を採取し、土壌生物を観察することにより、生物の多様性について学習した。	ムカデ等による咬傷について注意喚起	奄美市 1 奄美自然観察の森 1 森林技術総合センター 2 大島支庁 1
③	きのこに関するリーフレットできのこの特性や栽培方法等について学習した。また、しいたけの駒打ちを通して、しいたけの原木栽培や森林資源の活用等について学習した。	ドリルや金槌による怪我について注意喚起	森林・林業教育指導員 1 大島支庁 2

6 準備する教材・資機材

	県	学 校
①	木製時計一式、糸鋸盤、ボール盤、インパクトドライバー、金槌、差し金、紙やすり、グルーガン、飾り付け用小物、水性マーカー	コードリール
②	マイクロバス(市)、双眼鏡、パット、シャーレ、虫眼鏡、ピンセット、軍手、虫除けスプレー、図鑑	
③	原木、種駒、作業台、ドリル、金槌、皿、チョーク、軍手、リーフレット	コードリール、ブルーシート

7 ふり返り(担当者の意見、学校へのアンケート結果等から抜粋)

- ・しいたけ駒打ちを行うのは児童全員が初めてであり、大変貴重な経験となった。
- ・森林環境教育を通して、奄美のこを受け継ぐ人材が出ることを期待している。
- ・実施にあたり、入念な打合せを行っていただき、感謝している。
- ・森林での仕事を将来やってみたい。
- ・森林がどうやってできたか知りたい。
- ・森の中で好きな動物のことを学びたい。
- ・きのこが全部好きなので、キクラゲを育ててみたい。

8 森林学習，森林・林業体験活動の状況



【① 木工体験活動】



【① 木工体験活動】



【① 木工体験活動】



【② 自然観察活動】



【② 自然観察活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】



【③ しいたけ駒打ち活動】